

第60回キャンプストアは新店舗で開催 建替えは待ったなし！ ご支援の募金をお願いします。

建替えの実行こそ、預かっている基金の“真の活用”。
その基金にプラス、現役の拠出金でも建替えが厳しいなか、
再びの募金をよろしくお願いします。



イラスト/
宮島幸次

現状のままでは、夏の営業期間中はともかく、閉店時期に台風や東日本大震災の余震、季節の変わり目に吹く大風等の自然災害で店舗が倒壊し、不慮の事故につながる恐れがあります。また、一部損壊している店舗部分から不法侵入されて、悪戯等、防災面だけでなく、防犯面でも危うい状況になっています。

これらに対して、ご承知のとおり、これまではOB会と現役各代とで一部補修を重ねて対処してきました。

一昨年、OB会ではキャンパスストアの支援をかねて館山の市役所を訪れた時、観光課より建設環境部を紹介してもらいました。話題があがったのは、市の道路整備事

2003年春発行の会報17号で、再建基金募集委員会のもと、再建のための募金をお願いしました。

目標金額300万円を大幅に上回る500万円近くの募金が集まりました。その際、ご協力いただいたOB諸氏の皆さん、本当にありがとうございました。

さて、このとき集まった募金は、実は残念ながら「建替え」には使えず、前述の「補修」のために使われています。というのも、キャンパスストアの店舗が建っている土地の前部が借用している市有地だったため、土台を動かすことが認められず、建替え不可の判断が降りてしまったからです。

以前も募金を集めませんでしたか？

きました、いよいよもって危険な現況に「建替え」という抜本的な解決策に踏み切ることにしました。

一昨年の土地払い下げの話が出て以来、OB会には建替え準備会を現役と組んできました。会では、キャンパスストアの意義を見つめ直すことから始め、同時に土地払い下げの交渉、名義人となる立教学院との折衝、また新しい店舗の設計、建築予算等を練ってきました。

新しい店舗は、防災防犯と事故に備えた管理機能に加え、屋上部分を営業スペースとして活用する、新しい集いの場としての魅力を備えたものとなります。完成のイメージはイラストのとおり。躯体の基本は従来と変わらない鉄骨を指しますが、店舗の大きさは予算に準じるものとします。

新しい店は、こんな感じ

業の完了に伴った、借用している市有地の払い下げでした。学院名義で広告研究会が持っている土地は店舗後部の約7坪、残りの店舗前部約15坪を取得すれば建替え時の憂いはなくなります。守ってきた9年前の募金および毎年の現役各代からの拠出金を原資に、12年夏、無事土地を取得しました。



● 本年キャンスト風景

B諸氏のご理解のもと、建替えのための資金の温かいご支援を再度募ることになりました。もとより、学生としてもキャンパスストアの継続を強く願っており、すでに建設資金として前回は上回る200万円の捻出を申し出ています。OB会としても建替え資金捻出のために意欲的な努力をすすめ、可能な限りの支援を行いたいと思っていますので、次記の要領によりご協力をよろしくお願いします。

